

地区版第13号

発行日：平成26年11月20日

# たちばな会だより

発行者：社会福祉法人たちばな会  
理事長 鈴木松壽  
住所：浜松市浜北区於呂514  
電話：(053) 588-3214

吹く風に舞う落ち葉に早くも冬の訪れを感じます。平成26年も残り2か月となりましたので、少し気が早いようですが今年の主な出来事を振り返ってみます。経済や政治面では4月に消費税が5%から8%にあがり、9月には第二次安倍内閣が発足。文化面では6月に富岡製糸場と絹産業遺産群がユネスコの世界文化遺産に登録され、10月にLED関連の赤崎勇、天野浩、中村修二の三氏がノーベル物理学賞を受賞。また、8月の広島市の土砂災害や9月の御嶽山の噴火では甚大な被害が発生。この他、スポーツでは6月のサッカーWCは第一次リーグ敗退も、9月のアジア大会では水泳の萩野選手が大活躍しました。

以上、各人にとって悲喜こもごもの一年といえるのですが、たちばな会にとっても、例えば、(株)日本ロックさんからはこれまで同様の仕事をいただきながら、段ボールの組立及び優先調達推進法に係る除草作業が増えたことや予定していた行事を計画通り順調に実施できた点は評価できます。反面、利用者の確保が予定数に満たず、就労移行事業では一般就労において予定の実績を上げることができなかった点は、この事業での支援の在り方を反省且つ再検討する必要があると思っています。

来年度にかけてはグループホームの整備事業(新築)も控えていますので、たちばな会の取り組みが地域の皆様により一層ご理解、ご協力していただけるよう情報発信に努めてまいります。

(施設長 山下敏明)

## 手漉きはがきの販売とふれあい

月に一度、浜松市社会福祉協議会天竜地区センターで開催されている「一筆会」主催の絵手紙教室に、たちばな授産所の利用者がお邪魔させていただいています。たちばな授産所で作っている牛乳パックを再利用した手漉きはがきを、絵手紙教室で使用するはがきとして購入していただくためです。

素(す)のままの販売姿勢が教室の皆様にも人気があり、利用者も顔見知りになった方と出会うために毎回販売に出かけるのを楽しみにしています。

手漉きはがきが売れること以上に、このようなふれあいの機会があることを大事にしていきたいと思います。



# 行事の紹介

地域の皆様に支えられて

## 【お楽しみ外食会】 (H26. 8. 30)

土曜日のお昼、和・洋・中3つのグループに分かれて、それぞれ希望のお店に出かけました。初めてのことであって、出かける前から「どこに行くの」、「何を食べるの」とたいへん盛り上がっていました。



五味八珍



ガスト



さと

## 【鉄板焼き大会】 (H26. 9. 20)

今年も㈱日本ロック様のご招待があり、たちばな会とみどりの樹の施設利用者とその関係者約160名が楽しくて美味しい一日を過ごさせていただきました。



## 【慰安旅行】 (H26. 10. 16~17)

今年はこちらは授産所が新設となったリニア館とシャトレゼ等の工場見学、サンステップが箱根と富士サファリパークへ行ってきました。



## 自主製品のご紹介

### 【ポチ袋：出世大名家康くん/しっぺい】

- ・大人気のご当地ゆるキャラをデザインしたお年玉用ポチ袋。
- ・牛乳パックを再利用した製品です。

出世大名家康くん/しっぺい

(大) 2枚入

(小) 3枚入 ※いずれも100円



※ 商品の受け渡しは、たちばな授産所 窓口にてお願いします。  
※ 商品に関するお問い合わせ・ご注文は、下記の電話・FAXにて受け付けています。

(たちばな授産所 事務局)

TEL: 053-588-3214 FAX: 053-580-0084